



一般質問

第1回定例会（3月3日金）・（3月6日月）

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

新政クラブ 辻 浦 義 浩



る雰囲気を持っている。
市街地域内での移転も含め広く
まちづくりにつながるように検討す
る。

質問▼今後の図書館について問う。

質問▼伊達ベジファーストプロジェクトの支援について問う。

答弁▼大きな反響もあったことからお客様や参加飲食店の声を聞き、内容を見直しながら継続することで、認知度が高まっていくことが期待されるので、PR経費などを支援していく。

質問▼第7次伊達市総合計画の策定について問う。

答弁▼市民の意見や提言を反映させたため「みらい会議」を立ち上げるほか、住民懇談会や団体説明会を開催する。
地元高校生からも意見聴取し、広く市民と議論を重ねる。

質問▼中心市街地チャレンジ事業補助金の見直しについて問う。

答弁▼まちなかカフェは地域を見守





質問▼不登校児童生徒数について問う。

答弁▼不登校児童生徒数は小学生が7名、中学生が16名である。

質問▼愛のりタクシーの会員数と利用者数、相乗り率について問う。

答弁▼現時点での会員数は211人。相乗り率は通常便7・1%、定時運行便96・1%、全体では14・1%となっている。

質問▼利用者データの活用について問う。

答弁▼伊達商工会議所で利用日、運行時間、乗車人数などを把握している。



愛のりタクシー定時便の車両



議していきたい。

質問▼第7次伊達市総合計画で積み残しの図書館の位置づけを問う。

質問▼愛のりタクシーの会員数と利用者数、相乗り率について問う。

答弁▼

小学生1名、中学生13名、合わせて14名の利用である。通所せず自宅で過ごす児童生徒は小学生6名、中学生4名である。不登校から改善したケースについては平成25年度は3名、平成26年度は2名、平成27年度2名、平成28年度は3名である。

質問▼現時点での会員数は211人。相乗り率は通常便7・1%、定時運行便96・1%、全体では14・1%となっている。

答弁▼

小学生1名、中学生13名、合わせて14名の利用である。通所せず自宅で過ごす児童生徒は小学生6名、中学生4名である。不登校から改善したケースについては平成25年度は3名、平成26年度は2名、平成27年度2名、平成28年度は3名である。

答弁▼当市の「ゴミ処理基本計画」について問う。

質問▼西いぶり広域連合のメルトタワー更新計画では構成市町のゴミ処理基本計画を基に処理量を算定している。

答弁▼現計画は平成30年度末まで。平成40年度までの計画を平成29年度に策定する。

●その他質問

質問▼図書館のあり方検討委員会からの提言等を踏まえ、実施内容や整備時期、財政課題など検討を行っていきたい。

答弁▼図書館のあり方検討委員会からの提言等を踏まえ、実施内容や整備時期、財政課題など検討を行っていきたい。

質問▼通常便の相乗り率を上げるためのPRが現時点ではどのようになっているのか問う。また、何か別の手段について考えを問う。

答弁▼広告宣伝は足りていないと感じている。今後は周知方法などを考えていくたい。別の手段については現在は考えていない。



更新等が検討されているメルトタワー

質問▼構成市町での統一が図られるよう働きかけていきたい。

答弁▼構成市町での統一が図られるよう働きかけていきたい。

質問▼水分を含む「ゴミ質の課題について統一」を図る考え方を問う。

答弁▼水分を含む「ゴミ質の課題について統一」を図る考え方を問う。

質問▼処理方式・施設規模などの経過について情報公開及び、住民参加の考え方を問う。

答弁▼情報を広域連合に求め市HP等でお知らせする。

質問▼住民参加については広域連合と協



答弁▼入館者140万人、売上げ7億5千万円、前年比10%の伸びだが、今後は鈍化が予想されるので、新商品開発、外商などによる販路拡大と更なる野菜の品質向上が必要と考えている。

質問▼コンパクトシティをめざす中で、私道について問う。

答弁▼住宅が密集する市街化区域内の私道は278路線、総延長は22キロである。

質問▼私道の積極的な整理に周辺住民への情報提供について問う。

答弁▼どんなことができるか検討する。

質問▼JR北海道が進める整理統合を見据えて本市の公共交通について議論を進める考え方を問う。

答弁▼次期総合計画では、今後の地域公共交通についての検討が必要と考えている。



質問▼ホワイトアウト現象により視界不良となることがある。

答弁▼現在の紅白のポールの設置状況や安全面の確保について問う。

質問▼紅白のポールは高さが調整できるものを使用しており、概ね40m間隔で設置されている。

答弁▼パトロール等で破損や危険箇所を確認し、破損した際は交換、修理等を行う。

また幹線道路以外で危険箇所は6箇所ある。パトロールを強化し安全面での確保に努める。

紅白ポール以外の電柱への設置について北道電力(株)との確認や相談が必要なため確認してみる。

質問▼全部で10箇所あり、うち民家近くでは3箇所ある。点検は毎月定期的に行っている。



市道への手続きが進む舟岡地区私道

質問▼伊達市觀光物産館の活用について問う。

答弁▼将来負担となる生活基盤施設の整備を伴う市街化調整区域の活用はこれまで以上に抑制すべきと考えている。

質問▼全部で10箇所あり、うち民家近くでは3箇所ある。点検は毎

月定期的に行っている。さらに大雨時は巡回により確認している。3年から5年に1回程度状況に応じて土砂取りや清掃を行っている。

今後は民家近くについては特に予算200万円内ができる限り定期的に清掃等の管理を行っていく。



民家近くの雨水貯水槽

質問▼雨水貯水槽の点検や管理について、特に民家近くの貯水槽の管理はどうなのがを問う。

答弁▼全部で10箇所あり、うち民



質問▼アートビレッジと市民との距離があり、それを縮めることがこれまで以上に進めていきたい。
答弁▼野田・永山両氏と市民が接点を持ち距離を縮めることを、これまで以上に進めていきたい。

質問▼今年度からの「コミュニティスクールの導入、3年後の学習指導要領の改訂、そして、アクティブラーニングの取り組みが本格化し教員の仕事量の更なる増加による教育現場への影響を危惧する。
教員の仕事量の軽減策と学校教育を支援していただく地域人材発掘等の支援体制を問う。

答弁▼一定程度の負担増は生じるが、変形労働時間制や業務改善の指導助言に努める。
また、外部人材の確保は学校運営協議会と協議検討していく。

質問▼10年が経過した「だて噴火湾アートビレッジ構想」の総括と今後の事業展開について問う。

答弁▼市内外から多くの受講生を受け入れ、本市の文化度向上に大きく貢献した。

今後も事業を継続していく。



第1回 臨時会概要

1月19日に臨時会が開かれ、財産の取得についての議案と補正予算1件が上程され、全員一致で可決しました。

財産の取得について…

【ひまわり保育所整備事業用地として竹原町の約6000平方メートルを約4,800万円で取得】

旭町のひまわり保育所を移転新設することで待機児童の解消をめざし交渉してきた竹原町の土地について、地権者より購入が可能となったことから、平成29年度の保育所建設に間に合わせるため、上程されました。待機児童の解消は社会的な問題でもあることから、異論はなく、反対意見はありませんでした。

平成28年度伊達市一般会計補正予算には、すでに予算可決している

大滝区サービスステーション整備事業費7,301万5千円

を繰越明許費とすることについて審議しました。

繰越明許費とは…

歳出予算のうち経費の性質上または予算成立後の事情によって年度内に支出が終わらないと見込まれるもの、あらかじめ議会の議決を得ておいて翌年度に繰越して支出できるようにする制度。

